

キャラクター名
火獅形 焰

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ サラマンダー		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男の娘(第三の性別)
覚醒	渴望	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %	
出自	有名人	経験	トラウマ	邂逅	好敵手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	5	1	2			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	2		交渉	1	
回避	1		知覚	2		意志			調達	1	
運転:			芸術:	1		知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ナックルダスター	白兵	8r+3	0	1		護身用で渡された…とかでは勿論なく、厨二病なのではなから所持していました。
破壊の爪	白兵	8r+2	1	Lv+8		現在Lv1
ふれいむえっじ	白兵	8r+2		17		メモ欄参照
レーヴァテイン	白兵	11r+2		17		メモ欄参照

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	4	2			

合計装甲: 2 合計回避: 0

所持品	
コネ: ハッカー	
携帯電話	
アクセサリ	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
	P	N		
	P	N		
グレイファントム	P 親近感	N 恐怖		
綾瀬真花	P 慕情	N 不安		
霧咲真空	P 好奇心	N 隔意		
シーシャオ・立川	P 尊敬	N 恐怖		
七海弓花	P 親近感	N 不安		

最大財産P: 6 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセプト: サラマンダー	2	2	メジャー					
効果: CR値-Lv(下限値7)								
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン間【肉体】のダイス+[Lv+2]個。行動済みにはならず、行動済みでも使用できる。1メインプロセス1回まで、獣化中素手以外の装備不可								
神獣撃	1	2	メジャー	武器	単体	対決	80↑	
効果: 《完全獣化》の効果中のみ使用可能。組み合わせ時の攻撃力+[Lv+2]D。メインプロセス終了時《完全獣化》の効果は失われる								
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 素手データ変更								
炎の刃	4	2	メジャー	武器		対決		
効果: 攻撃力+[Lv*2]								
灼熱の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: 自身がガードを行う際使用可。ガード間のガード値+[Lv2]個。								
熱感知知覚	1		メジャー	視界	自身	自動		
効果: サーマグラフィー視覚感覚を得る。<知覚>判定が入る場合あり。								
獣の直感	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果: 野生の勘。<知覚>判定が入る場合あり。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

2/6
真面目にキャラ設定提案してくれれば使うかもと言われたので書いてみているが、一般家庭の生まれで特徴といえば『男の娘』ってぐらいのこいつに設定付けるとしたら、正直やっぱり『昔フンタイさんにぶち犯されて安城鳴子に目覚めちゃったぜ、ついでに衝撃的過ぎて記憶がぶっ飛びちゃったぜ』ぐらいしかないと思うんだけどどうよ？
だがしかし書く、仮にも小説家志望だから。
byまそらんの中の人

——ヒトの目が、恐い。
他人に見られること、他の誰かの視線が怖いじゃなく、物理的に、物的に、人間の“眼球そのもの”に、言いようのない恐怖を感じる。
だから物心ついた時には、僕(…あれ、陥って一人称“俺”だった?)はヒトと目を合わせられなくなっていた。

だから、だろうか……僕は、友達が少ない。構ってくれたり、話しかけてくれる人は何人かいるけど、心から“親友”と呼べる人は、いない気がする。
でも、しょうがないよね。オドオドして、口ごもって、相手の目も見れないような人間と友達になろうなんて思わないもんね。

……でも、しょうがないじゃないか。
無理矢理に目を合わせると、息が出来なくなる。胸が苦しくなって、頭が痺れる。それでも相手の目を見ようとすると、最後には目の前が真っ暗になって、何も見えなく……
いや、違う。確かに左眼は何も見えなくなるけれど……右眼には、何かが見えている。
でも、それが何かが分からない。でも、確かに何かが、“全てが血の様に朱い何か”が、右眼だけに映るんだ。
その“何か”が、恐い。恐くて、恐くて、どうしようも——